

(別紙)

「京丹後市立病院改革プラン【改訂版】(案)」に対する意見とそれに対する市の考え方

(敬称等は略)

| 項目 | 意見要旨 | 考え方 |
|---------------|--|---|
| 医療圏の病院と人口について | <p>京丹後市の人口に加えて、宮津・与謝野町・伊根町他の自治体エリアが対象人口だと察しますが、このエリアに府立与謝野・丹後中央・ふるさと・久美浜・豊岡病院と乱立しており、しかも、府立病院からの医師派遣が主流を占めており、府下で一番遠いと言われても過言ではない弥栄に果たして自力で医師確保が出来るのか、甚だ疑問であります。</p> <p>この広範囲な地域に点在する病院と人口で、京丹後市が自力で経営できると理事者以下、身銭を投じてでも責任を全うする意思表示があるのか。</p> <p>情報公開資料においても、赤字の表現を言い替えるとか、市民を騙すに近いやり取りがなされております。</p> <p>近日の与謝野町での平成29年度予算について発表がありましたが、数年先では資金不足するとありますが、与謝野町では病院に持出す費用は京丹後市の5億円前後に比べて殆んどゼロであります。しかし、報道の通りが実態です。</p> <p>議会においても議論はなされておりますが、残念ながら素人議論で、市民を代表して京丹後市の財布をチェックしている質疑とは感じられません。</p> <p>合併以降、関与された市長以下医療部関係者での財政を含めた総括が必要であり、市民対象の公開討論の場を設けてオブロードで包むのではなく赤裸々な議論が必要です。</p> <p>責任は誰が持つのですか。</p> | <p>広域な京丹後市の中で、安心社会の基礎となる医療提供体制の確保は、地域の存立にかかわる最重要課題であると捉えており、ご意見をいただきました医師の体制確保では、全力をあげて医師の招へいに努めるとともに、指標にも掲げました経営の効率化を図ることで、持続可能な安定した病院経営を図ることが自治体の責務であると考えております。</p> |